

第170号

2025.9
(令和7年)

ひこね市議会だより

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ いよいよ開催！

～議会も声援を届けます！～

国スポ・障スポ主会場
平和堂HATOスタジアム



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

国スポ：2025.9.28 SUN ～ 10.8 WED
障スポ：2025.10.25 SAT ～ 10.27 MON

令和7年5月臨時会 (5月21日)
令和7年6月定例会 (6月9日～6月30日)

- 5月臨時会の結果 …………… 2～3
- 6月定例会で決まったこと …… 4～8
- 個人質問 …………… 8～18
- お知らせ …………… 6,19～20

決定しました

5月臨時会で和田議長、林副議長が当選されました。
また、各委員会の構成は以下のとおりです。



66代議長
和田一繁 議員

市民に身近に感じてもらえる議会を目指し信頼にお応えできるよう、二元代表制の一翼を担う市議会として行政への監視機能を果たしつつ、市民に開かれた議会運営に取り組んでまいります。



78代副議長
林利幸 議員

議長をお支えし、議長と共に議会の円滑な運営と透明性の高い議事進行に努め、市民の皆さまの期待に応えられるよう全力を尽くします。

◇ 委員会の構成 ◇

◎ : 委員長 ◆ : 副委員長 ○ : 委員

委員会名	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	中野 正剛	上杉 正敏	北川 元気	辻 真理子	森野 克彦	和田 一繁	矢吹 安子	小川 吉則	黒澤 茂樹	疋田 菜穂子	伊藤 容子	奥野 嘉己	安澤 勝	野村 博雄	森田 充	戸崎 克司	馬場 和子	長崎 任男	林 利幸	小川 隆史	
企画総務消防常任委員会						○	○	○						○		○				◆		○		◎	
福祉病院教育常任委員会		○	◆						○		○	○			○				◎					○	
市民産業建設常任委員会	○			○	○					○			◎				○		○		◆				
予算常任委員会	○		○			◆	○				○			○	◎	○			○		○	○			○
議会改革特別委員会		○				○	◎						○			○				○		○			◆
議会運営委員会	○			○		○									○		◆		○		○	◎			

5月臨時会の結果

原案のとおり 予算関係1件 条例関係1件
 可決・承認・同意 その他の議案2件



新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を矢吹安子議員とする議案に対し、同意しました。

5月臨時会 議案の審議結果

会期：5月21日(水)

■ 全員賛成で可決した議案

項目	番号	件名
議案	44	令和7年度（2025年度）彦根市一般会計補正予算（第1号）
	45	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）
	47	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	4	損害賠償の額の決定について
	5	和解および損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	中野	上杉	北川	辻	森野	和田	矢吹	小川	黒澤	足田	伊藤	奥野	安澤	野村	森田	戸崎	馬場	長崎	林	小川	
				睦子	英明	龍二	達也	正剛	正敏	元氣	真理子	克彦	一繁	安子	吉則	茂樹	穂子	容子	嘉己	勝	博雄	充	克司	和子	任男	利幸	隆史	
議案	46	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	除斥	○	退席	退席	退席	退席	退席	退席	○	○	○	○	○	○



6 月 定 例 会 の
結 果

原案のとおり可決 予算関係 2 件 条例関係 4 件
その他の議案 1 件
委員会議案 1 件

6 月 定 例 会 議 案 の 審 議 結 果

会 期 : 6 月 9 日 (月) ~ 6 月 30 日 (月)

■ 全 員 賛 成 で 可 決 し た 議 案

項目	番号	件 名
議 案	48	令和7年度（2025年度）彦根市一般会計補正予算（第2号）
	49	令和7年度（2025年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
	50	彦根市長の給与の特例に関する条例案
	51	彦根市空家等の適正管理および活用に関する条例案
	54	財産の取得につき議決を求めることについて
委員会議案	2	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例案

■ 議 会 に 提 出 さ れ た 報 告

項目	番号	件 名
報 告	6	令和7年度（2025年度）一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	7	第38期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	8	第23期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	9	令和6年度（2024年度）彦根市繰越明許費繰越計算書について
	10	令和6年度（2024年度）彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	11	令和6年度（2024年度）彦根市下水道事業会計予算繰越しについて
	12	損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	中野正剛	上杉正敏	北川元気	辻真理子	森野克彦	和田一繁	矢吹安子	小川吉則	黒澤茂樹	疋田菜穂子	伊藤容子	奥野嘉己	安澤勝	野村博雄	森田充	戸崎克司	馬場和子	長崎任男	林利幸	小川隆史
議案	52	彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53	彦根市市税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月臨時会・6月定例会に提出された議案等の
詳細についてはこちらから



◀ 議案一覧・議決結果

このような討論がありました

討論の対象議案 議案第50号
彦根市長の給与の特例に関する条例案

賛成

第一に市長が自ら報酬削減を決断したことは、非常に厳しい彦根市財政を鑑み、市政を託された自身の責任として受け止め、過去の市長や執行部の責任とせず、市民サービス向上を目指す姿勢の表れであり、意義深いこと。

第二に報酬削減は市長選で市民と約束した公約であり、多くの支持を受けて当選したことから、その実現は民意であり、早期の公約実行は信頼の確保につながるものであるため本条例案に賛成する。



一般会計補正予算の主な事業

キャッシュレス決済ポイント還元事業

2億1,416万1千円

市内の小売業者、飲食店等地元企業の活性化を目的に、キャッシュレス決済事業者と市とが連携して、キャッシュレスポイント還元またはデジタル商品券等のキャンペーンを実施するために必要となる経費で、全額国庫支出金をもって賄います。



特別職給与費

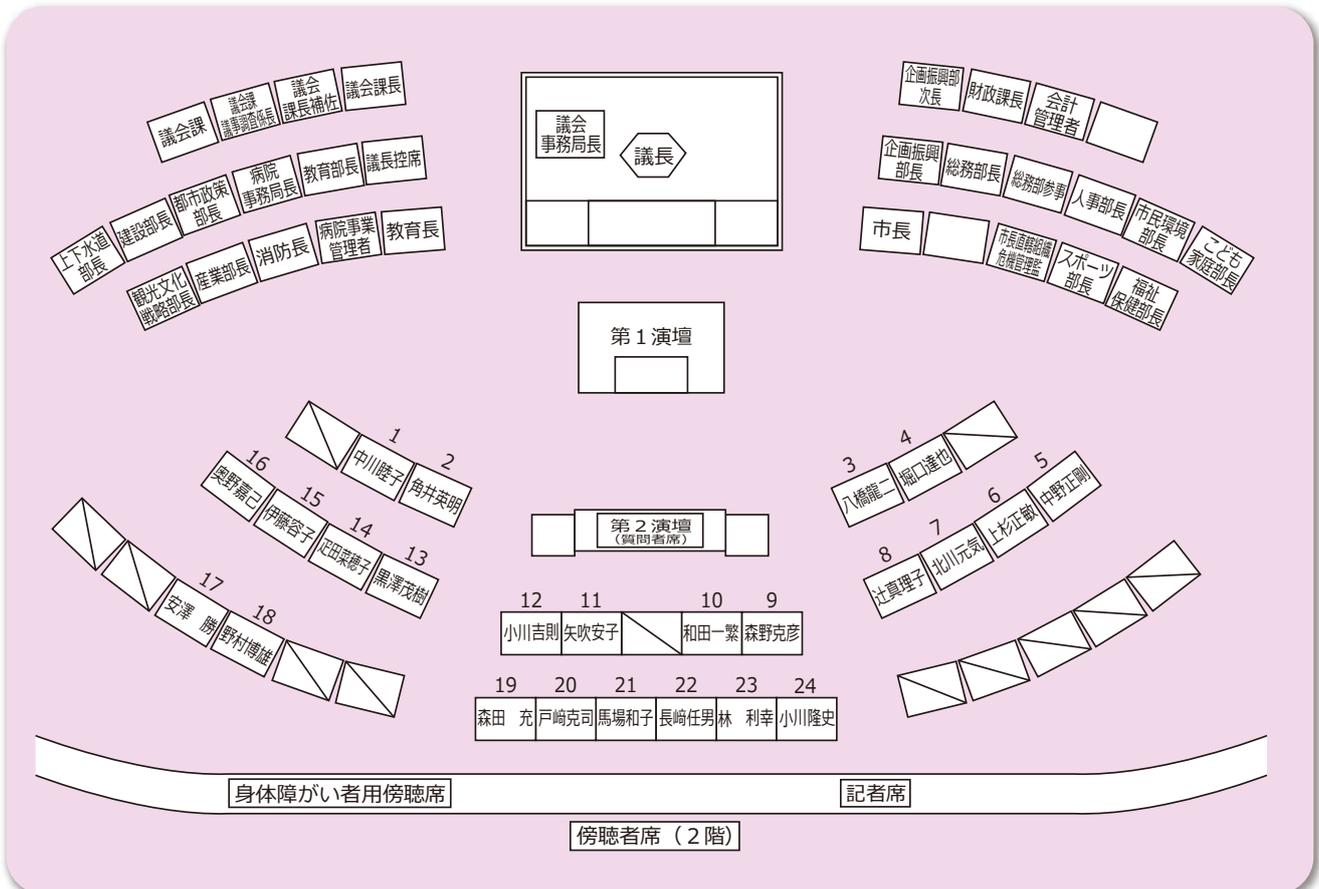
△213万円

市長の公約に基づき、市長の給与等を20%削減するため、その経費を補正するもの。

給料月額 925,000円 → 740,000円 (△185,000円)

期末手当 1,887,000円 → 1,509,600円 (△377,400円)

令和7年5月以降の議場レイアウト



予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、6月20日(金)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第48号、議案第49号

【主な質疑】

○議案第48号に対して

- Q 学校支援・いじめ対策総合事業の詳細と初等中等教育振興事業委託金との差額の理由は。
- A 文部科学省のモデル事業の学校問題解決の支援体制構築のための事業で、学校だけで解決が難しい事案について適切な支援、対応につなげていくもの。差額については、既存の学校支援・いじめ対策総合事業の学校支援いじめ対策専門員とスクールソーシャルワーカースーパーバイザーの報酬費に充てる。
- Q 教育振興費の備品購入費の詳細と財源は。
- A 令和7年度中に必要なネットワーク速度を満たすため10校を改善する。その費用は、小中学校合わせて2,069万6千円であり、国の補助は1/3の689万8千円、残りの部分は90%の起債と一般財源である。

Q 小学校の学校管理費の詳細は。

- A 湖国バスの運賃値上げによる城陽小学校通学利用者への値上げ分で、全額市の負担である。
- Q 障害者福祉推進事業のシステム変更委託料88万円の財源と就労選択支援の内容は。
- A 国の補助金が44万円で残りは一般財源である。就労選択支援は、障害のある方がより良い働き方や就労先を主体的に選択できる支援であり、障害者総合支援法の改正で障害福祉サービスの1つとして新たに創設された。
- Q キャッシュレスポイント還元事業の事業者と事業実施時期は。
- A 事業者はプロポーザルを実施し決定する。物価高騰で市民や地元企業が苦しみ中、早い実施が必要と考え時期は10月と設定した。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

議案は原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、6月23日(月)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第51号

【主な質疑】

- Q 条例名に活用を追記した理由は何か。
- A 市として空家等の活用に力を入れていくことおよび法改正の内容と整合を図るため条例名を改正した。
- Q 彦根市空家等対策推進協議会の開催頻度は。
- A 令和7年度は現在のところ1回の開催予定。
- Q 空家等の活用に対し何らかの補助はあるのか。
- A 条例改正で活用に力を入れていくことにしているが、補助金などは今のところ考えていない。
- Q 従来、長屋や共同住宅では1人でも居住していれば空家にならなかったが、今回の改正ではどのようになるのか。

- A 法律上は長屋や共同住宅が全て空室とならないと空家とは見なさないが、市内には一部が空家で他の部屋には居住されている建物がある。このような建物で一部の老朽化が進むと管理不全となり、他の居住者の困りごととなる。そのため今回の条例改正では法律で指導等の対象とならない空き住戸等についても是正の指導ができるようにした。
- Q 管理不全の空家の所有者等が、市からの指導や是正命令に従わなかった場合どのような対応になるのか。
- A 命令等に従わなかった場合は、最終的には代執行となる。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決



企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、6月24日(火)、30日(月)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第50号、議案第54号

【主な質疑】

○議案第50号に対して

- Q 市長の給与20%減額案について、一般質問の答弁で、庁内グループウェア等で全職員に伝えたがあったが、職員からの要望、意見はあったのか。

- A 全体把握はしていないが、職員には意見があれば知らせてほしいと伝えている。現在まで、市長のところには職員の意見は寄せられていない。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市政について
質す!

6月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

(<https://hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市議会
インターネット
映像配信はこちら



▲彦根市YouTube
チャンネルは
こちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



安澤 勝議員

Q 山林火災に対応した消火活動を行うシミュレーションや訓練は

A 毎年春先に山林火災を想定した訓練を実施し有事に備えている



その他の質問

- ・分団活動費の増額はできないか
- ・金亀会館の保存・管理体制と今後の利活用は

Q 山林火災に対応した消火活動を行うシミュレーションや訓練等は実施しているのか。

A 定期的な山間部調査や年間を通じた山林火災対応資機材の点検整備を実施している。また毎年、山林火災が多く発生している春先を中心に、小型車両への乗換えや資機材の積載方法の確認も兼ねて山林火災想定の出場訓練や活動シミュレーション等を実施し、有事に備えている。

Q 山間部での水利確保対策はできているのか。

A 山間部には有利な水利はほとんどないが、山林火災が発生した際の地上部隊の主な活動は、住宅地への延焼阻止と火災終息後の残火確認で、消火活動の主力はヘリコプターによる空中消火になる。

Q ヘリコプターによる消火活動を要請する場合の基準は。

A 国からは特に示されていないが、早期要請する。



▲山中の消火水利の現状



戸崎 克司議員

Q 立花町交差点に右折矢印信号を設置しては

A 警察にて慢性的な渋滞など交通需要が認められた場合に設置を検討される



その他の質問

- ・フリースクール等民間施設にも通えない児童生徒への支援は
- ・市長が考える対話の目的、優先順位、効果展望は

Q 護国神社前交差点南側の交差点の交通安全対策は。

A 警察との協議の結果、当該交差点へ信号機は設置されず、いろは松駐車場側の道路に一時停止の規制がされることになった。

Q 彦根インターチェンジへの交通分散・渋滞緩和対策は。

A 今後、交通状況の変化を注視しつつ、必要が生じた場合は滋賀県に対し案内標識の設置について申し入れを行う。

Q 銀座町三差路の交通安全対策は。

A 今後、さらに慢性的な交通滞留が発生するなど交通需要が認められた場合には改良の余地について、警察と協議を行う。



▲交通量の多くなった立花船町線、右折レーンが混み合う立花町交差点





黒澤 茂樹議員

Q 農業者の規模別の支援策は

A 農業者の皆さんに寄り添った支援を行う

Q 耕作規模別の農業者数は。

A 主食用米の作付けを行う農業者のうち1ha未満は290経営体、10ha以上は40経営体。

Q 大規模農業者に対する生産コストや効率を高めるための支援策は。

A ドローンやセンサー、AI等を活用したスマート農業の導入は生産性向上やコスト削減に大きく寄与するものと認識している。先進的農業経営の支援のため、国や県の補助制度を活用できるよう、制度の情報提供を行っているほか、申請書類の作成支援、技術的アドバイスなどを行っている。

Q 小規模農業者への支援策は。

A 彦根市農業再生協議会では、水稻や麦、大豆に加え野菜や花きなど幅広い農産物を生産する販売農家に対し、経営規模に関わらず面積等に応じた補助金の配分やその手続き支援を行っている。



その他の質問

- ・彦根市市税条例の一部を改正する条例案について
- ・公園の樹木や街路樹の管理方法や安全対策について



▲農作業中のドローン



正田 菜穂子議員

Q 地籍調査事業の概要は

A 行政が、県、国の補助を受けつつ一定の区域の境界および面積を確定させる事業

Q 地籍調査とは。

A 一筆ごとの所有者、地番および地目の調査、境界および地積に関する測量を行い、結果を基に地図および簿冊を作成すること。

Q 地籍調査事業を行う際の費用負担は。

A 国が50%、都道府県と市町村が25%ずつ負担する。さらに市町村負担分に対して80%程度特別交付税が交付される。

Q 地籍調査事業の対象とする地区の決定方法は。

A 地元住民の総意に基づく要望をもって、選定している。

Q 地籍調査事業のメリットデメリットは。

A メリットは土地取引の円滑化や災害発生時における早期の復旧、まちづくりの効率化に繋がること。デメリットは多額の費用と期間がかかること、所有者間で境界争いが発生した場合、事業全体に影響を及ぼす可能性があること、地域住民の方に立ち合いなどの負担が生じること。



その他の質問

- ・本市における地籍調査事業について
- ・地籍調査の妨げとなっている原因・完了に要する時間について





北川 元気議員

Q 職員が市議に刑事告訴された異例の事案、市長の見解は

A 誠に遺憾であり規則で対応条例は引き続き検討



その他の質問

- ・市長給与20%削減について
- ・田島市長の基本政策（公約）について

Q 市職員が市議に刑事告訴された異例の事案について、市長の見解を問う。精神的に追い詰められた職員を守るため、なぜ条例提案を行わなかったのか。

A 本件は誠に遺憾であり、職員の精神的負担も大きかったと認識している。5月に支援規則を施行し、制度的対応を行った。条例は制度的抑止が難しいことから今回は見送ったが、今後の必要性については引き続き検討する。

Q 告訴により執行部と議会の信頼関係が損なわれ、市政全体への影響は大きい。市長は職員を守る責務をどう果たすのか。この件での謝罪や是正を求める考えはないのか。

A 職員が安心して職務に従事できる環境整備は重要であり、制度面の支援は実施済みである。ただし、刑事告訴は個人に認められた法的権利であり、市として謝罪や是正を求めることは制度上困難である。



奥野 嘉己議員

Q マイナンバーカードの更新対応は

A かなり改善できているが今後の体制整備に取り組む



その他の質問

- ・都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の改正
- ・企業誘致の定義について
- ・債券の運用方針について

Q 年初には交付まで3か月程度かかっていたが、5月末時点での交付日数はどの程度か。

A 年度末の繁忙期と重なり遅延していたが、現在は約2か月にまで改善できている。

Q 紐付けされている保険証が、誕生日を過ぎて失効することへの懸念があるが。

A 誕生日を過ぎても、3か月間は引き続きマイナ保険証で受診できる。

Q 来年度もカードの更新需要があるが、国スポ後の組織見直しでの体制強化や、休日対応の強化は。

A 体制整備の検討は不可欠であり、できることから取り組む。





小川 隆史議員

Q 彦根市の公的施設のあり方は

A 維持管理費が財政に与える影響は大きく
財政健全化の重要課題と認識



その他の質問

- 彦根市議会議員が、職員を刑事告訴し、不起訴処分になった事案に対し職員を守るための条例制定について

Q 公的施設の管理費が、財政健全化に支障をきたしているか。

A 公的施設の維持管理費が財政に与える影響は大きく、今後、適正規模化、統廃合の検討は避けて通れず、財政健全化に向けて取り組む重要課題だ。

Q 男女共同参画センター・ウィズの存続は。

A 本年7月までに対話を重ね結論を見出す。

Q 東山児童館の存続は。

A 今年度中に市民対象の説明会を持ち、できるだけ早く結論を導き出す。

Q 公的施設の対話の中で、廃止・存続議論が賛否二分した場合は。

A 市長が最終決断を行うが、それ以上に市民の理解を得る努力を進めていく。



▲現在のウィズ



辻 真理子議員

Q 歳入増加の「王道」とは

A 企業誘致に取り組み、新たな雇用を
図り、定住人口を増やすこと



その他の質問

- ゴミ処理施設の補助金について

Q 歳入増加の「王道」とは。

A 企業誘致の促進に取り組むことで、新たな雇用の創出を図り、それに伴って定住人口の増加や若い世代の流出抑制といった効果を生み出すことを目指すこと。

Q 歳入増加の「王道」では時間がかかるのではないか。

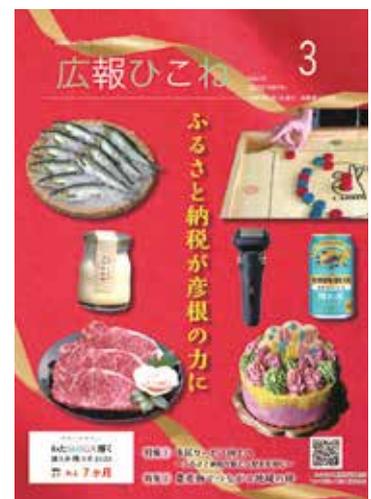
A 安定的で持続可能な歳入増加のため、中長期的な視点に立った施策の積み重ねが不可欠で、企業の誘致や定着は地域経済の活性化と将来的な財源確保の両面において必要な取組である。

Q 令和7年度の公債費についての認識は。

A 今後も可能な限り新規の借入を控え、公債費の増加を抑制する必要があると認識している。

Q ふるさと納税の受入れが減額になった場合は。

A 減額とならないよう積極的にふるさと納税施策を推進することを最優先とする。



▲2025年3月「広報ひこね」
(ふるさと納税説明)



上杉 正敏議員

Q 映画祭や映画のまちの推進についての見解は

A 映像作品のロケ誘致や撮影支援、作品公開を積極的に取り組む

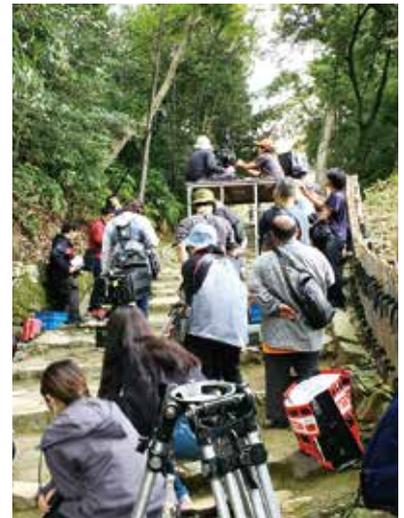


Q 映画祭や映画のまちの推進についての見解は。

A 本市では、これまでから映像作品のロケ誘致や撮影支援、作品公開に伴う情報発信等に積極的に取り組んできた。このような取組については、本市の魅力向上や観光誘客にもつながる非常に有意義な取組であると認識しており、この「映画のまち」の取組をさらに加速させたいと考えている。「映画のまち」としての新たな挑戦である映画祭の開催についても同様である。この映画祭は、市の一般財源に頼らず、企業協賛やふるさと納税を活用したクラウドファンディング等による革新的な試みであり確実に開催できるよう市長が先頭に立って取り組んでいく。

Q 私が紹介したクラウドファンディング寄附者の進捗状況は。

A 具体的な手続きについて進めている。



▲彦根城でのロケ風景



馬場 和子議員

Q 「ひこねしちょーCH」の果たした役割から今後の展望は

A 磨かれたスキルを生かし「彦根市 YouTubeチャンネル」で発信する



その他の質問

- ・彦根城世界遺産登録の展望について
- ・彦根市観光振興計画の展開について
- ・彦根市シティプロモーション戦略について

Q 彦根市長公式YouTubeチャンネル「ひこねしちょーCH」の果たした役割の数字的な、職員のモチベーションアップへの効果は。

A 市長と職員がワンチームで市政情報や彦根の魅力伝えるため令和4年4月27日から令和7年5月9日までの3年間で300本の動画を公開した。視聴回数は364万回を超え、彦根の認知度向上の一翼を担うことができ、職員への応援コメントでモチベーションアップにつながった。

Q 磨かれたスキルを生かし彦根の今を発信することで効果的な広報戦略となるのでは。

A これまで積極的に発信してきた「ふるさと納税」や「Jリーグ誘致」などを担当職員が出演して「彦根市YouTubeチャンネル」から発信していきたい。



▲彦根の情報を発信する彦根市YouTubeチャンネル



森田 充議員

Q 小中学校間でタブレット使用頻度にバラツキはあるのか

A 小中学校間でタブレット使用頻度にバラツキが見られる



その他の質問

- ・デジタル教科書の導入状況は
- ・新市長のふるさと納税に対するスタンスは
- ・新市長の給与等20%削減の根拠は

Q 授業以外でのタブレット活用方法は。

A 休み時間にはタイピングやプログラミング、デジタル百科事典を使った調べ学習に、家庭学習ではデジタルドリルや動画撮影をして課題提出などに活用している。

Q 休み時間を活用し国スポ・障スポを現地観戦できない児童生徒に、地元彦根の選手の活躍している姿をタブレットにて動画共有できないか。

A 録画したものを彦根市YouTubeチャンネルで配信することは可能。

Q デジタル教科書および学習タブレット使用における課題は。

A デジタル教科書については画面や文字の大きさの関係で教科書の1ページが1画面に表示しきれないことや、教員側の習熟度合いによる活用の差が課題です。学習者用タブレットについては使用時に約45%の児童生徒が「少し目が疲れる」、「目が疲れる」と回答しており目の健康への配慮が必要。



▲紙の教科書とデジタル教科書（イメージ）



中川 睦子議員

Q ふれあいの館を再開すべきでは

A 閉館は議会で承認されたことから再開はない



その他の質問

- ・子どもセンターの運営について
- ・東山児童館について
- ・金亀公園の運営について
- ・放課後児童クラブの運営について

Q 閉館して2か月。これまで施設運営について検討しているが、現状と今後については。

A 閉館後、地元自治会へ利活用の打診や県立大学と複数回の協議を行ってきた。具体的な活用方法は、現在も交渉中で、様々な可能性を模索している。本市の財政負担が生じない条件で、市民に納得のいく利活用策を検討していく。

Q 施設が閉館・放置され、劣化が進むことが心配されるが見解は。

A 職員が定期的に現地確認を行い、風通しなど必要な管理をし、財政負担を伴わない形で現状維持に努めている。

Q 子どもたちの健全育成、保護者支援の観点から児童館の再開を検討すべきでは。

A 施設再開を求める要望は寄せられていない。閉館については、議会で承認をされたことから再開は考えていない。



▲閉鎖されたふれあいの館



森野 克彦議員

Q リーフレットはどのように周知されているのか

A 児童生徒へは1人1台端末を活用
保護者へは連絡用アプリで周知

Q リーフレット『不登校のイメージって?～学校に行けないってどういうこと?～』はどのように周知されているのか。

A 児童生徒へは1人1台端末にショートカットを作成し電子版リーフレットを見られるようにした。小学1年生以外は今年度5月中旬までに設定を完了しており、小学1年生についても6月中旬までに設定を完了した。今後、各校でこのリーフレットを活用し、子どもたちが不登校について正しく理解できるように指導していく。

また、保護者用連絡アプリを活用して保護者へもリーフレットの周知を図り、家庭においても不登校について理解を深めていただく機会にしたい。



その他の質問

- ・熱中症対策について
- ・オンラインカジノの危険性と違法性の教育について
- ・小中学校の隔週水曜日を午前授業にしてはどうか



▲滋賀県が作成したリーフレット



角井 英明議員

Q マイナンバーカードの
交付遅れへの対策は

A 業務のより一層の効率化を進め
改善していく

Q 早い時点で国にマイナンバーカード更新手続きをした市民が、交付遅れでマイナ保険証が使えない状態になった原因は。

A 更新申請の増加と住民異動の時期が重なり、窓口や電話対応等の業務が増えたため。

Q マイナンバーカードの交付遅れを防ぐには職員の増員が必要では。

A 現在の職員体制で一層の業務の効率化を進める。今後も更新の増加が見込まれ、マイナンバーカードの役割が高まり業務の複雑化や多様化が想定され、業務改善や職員体制の充実等体制整備の検討を進める。

Q マイナンバーカードの便利さがいわれるがマイナンバーカードの交付が遅れた。今後こうした事態を起こさないためには。

A マイナンバーカードの交付が遅れる原因にはいろいろな要素があり、改善できるところから改善していく。



その他の質問

- ・公共施設での再生エネルギーへの転換を計画的に進めるべきでは
- ・夜間救急搬送された患者への対応は適切か



中野 正剛議員

Q 希望する小中学生に防犯ブザーを貸与してはどうか

A 希望者に対し防犯ブザーを貸与すること等について研究していく



その他の質問

- ・マイナンバーカードを利用した救急業務について
- ・带状疱疹ワクチン定期接種について

Q 彦根市では小中学生への防犯ブザーの貸与は行っていないのか。

A 本市では現在、小中学生に対して防犯ブザーの貸与は行っていない。昨年度までは企業から安全ホイッスルの贈呈があり、市内小学校1年生全児童に配布していたが、昨年10月に終了した。

Q 滋賀県内で防犯ブザーを貸与している市町はどれくらいあるのか。

A 19市町中12市町が小学校の新入生向けに防犯ブザーを貸与ではなく、配布している。

Q 彦根市でも希望する小中学生に防犯ブザーを貸与してはどうか。

A 各小学校では毎年新入生に対し、防犯絵本や防犯リーフレットを配布して複数で登下校することや不審者から身を守る行動について指導しているが、今後は、希望者に対し防犯ブザーを貸与すること等について研究していく。



▲防犯ブザー（イメージ）



小川 吉則議員

Q 4月の旭森学区正法寺町を中心とした空き巣等の犯罪件数は

A 4月27日から30日にかけて6軒の住宅が被害に遭った



その他の質問

- ・介護人材不足について

Q 彦根市の空き巣等の犯罪の件数は。

A 令和6年中に彦根市内で発生した「侵入盗」の件数は75件であった。

Q 4月の旭森学区正法寺町を中心とした空き巣等の犯罪件数と被害は。

A 4月27日から30日にかけて、正法寺町を中心とした半径2キロ圏内で、6軒の住宅が被害に遭ったと発表された。被害の詳細は、現在も捜査中であり、具体的な内容については警察より情報提供を受けていない。

Q 地域住民が注意すべきことは。

A 特に注意すべき点として、普段見慣れない車両や人物を見かけた場合、すぐに110番通報、もしくは最寄りの警察署への通報をお願いしたい。在宅中であっても、玄関や窓などの出入り口には確実に鍵をかけること、特に就寝時には必ず施錠することが基本となる。



▲旭森学区内の自治会を防犯パトロールする、彦根警察署長等と滋賀県警察のマスコット「けいたくん」



野村 博雄議員

Q 安全・安心のため防犯灯の充実や通学路上の危険な空家への取組の推進は

A 防犯灯設置の推進や新たな条例等で危険な空家への対応も進めていく

Q 安全・安心のため防犯灯の充実が必要では。

A 防犯灯は犯罪を抑止する効果のある設備であり、LED防犯灯を設置される自治会等に対し補助金を交付し、犯罪が発生する恐れがあると思われる箇所については設置を推進していく。

Q 通学路上にある管理不全で危険な空家への取組の推進状況は。

A 状況の把握に努め危険性の有無によって所有者に対し是正指導を行う。また、今後の更なる取組が必要と認識しており、新たな空家の条例において応急的なものとして軽微な措置という規定を設け、特に通学路上の改善が見込めない管理不全な空家には、通行者が危険な空家に近づかないよう仮設的な対応も図っていく。



その他の質問

- ・より利用しやすい公共交通の整備推進について
- ・荒神山を中心とした観光促進について
- ・新市長の方針について



▲設置の推進が望まれる防犯灯



長崎 任男議員

Q 建設候補地は西清崎地区との考えと理解してよいか

A 市長としては西清崎地区で検討したい

Q トンネルコンポストを中止した場合の建設候補地として、西清崎地区との対話に言及されていることから、市長として新ごみ処理施設の建設候補地は西清崎地区との考えと理解してよいか。

A 西清崎地区は建設候補地として、これまで住民の皆様の多大なご協力とご理解を得て、準備や検討が進められてきた地域である点は非常に大きなポイントであると考えている。市長としてはまず、西清崎地区で事業を進めることについて検討したいと考えている。

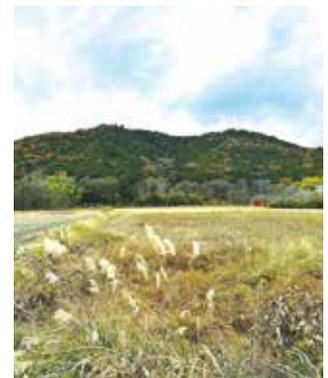
Q 西清崎地区は、新ごみ処理施設の候補地が二転三転する中で、振り回されてきた。今回もハシゴを外すということはしないと約束していただけるか。

A これまでの非礼をしっかりとお詫びを申し上げ、皆様の気持ちに寄り添いながら、今後の計画を進めていくべきと認識している。



その他の質問

- ・レイラック滋賀FCのJリーグ昇格時の経済効果は
- ・田島市長は今後どのようにレイラック滋賀FCと関わっていけるのか



▲西清崎地区



八橋 龍二議員

Q 彦根城は誰のための世界遺産登録を目指しているか

A 世界遺産は全人類のために保存し価値を享受すべき



その他の質問

- ・天守前までのバリアフリー整備の可能性は
- ・海外の整備事例の調査は

Q 彦根城のバリアフリー化ユニバーサルデザイン化に向けて、現在の進捗状況は。

A 彦根城のバリアフリー化は文化財保護との両立が課題であり、現在は麓エリアの段差解消や障がい者用トイレ整備等を段階的に進めている。天守までの整備は安全面や文化財への影響から慎重な検討が必要であり、今後は技術の進展や他自治体の事例を参考に対応策を検討していく。

Q 市民や障がいのある方、専門家を交えた検討体制は。

A 現時点では専門会議の設置予定はないが、彦根城保存活用総合検討委員会にて専門的見地から意見を伺いながら進める。今後は、障がいのある方や市民の皆さまのご意見も重要と認識し、必要に応じて意見をくみ上げる機会を設け多角的に検討を進める。



▲バリアフリー化を目指す彦根城



堀口 達也議員

Q 新ごみ処理施設の方針転換の理由と、市への影響および現有施設の状況は

A 現有施設の大規模改修や外部搬出により、財政負担や市民への影響が懸念される



その他の質問

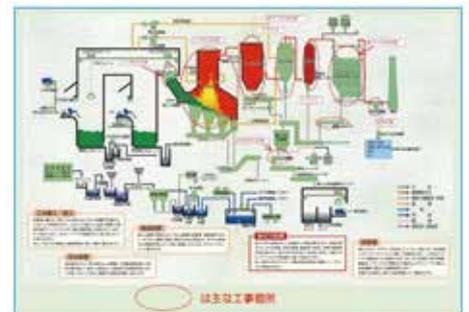
- ・ひこねしちよーCH閉鎖の影響と対策は
- ・ふるさと納税促進のための戦略的な発信への見解は
- ・彦根市の米問題の影響と対策は

Q 新ごみ処理施設の方針転換の理由と、市への影響および現有施設の状況は。

A トンネルコンポスト方式は、国の交付金の1/2への拡充が見込めず、フラフ^(※)の販売先が1社であり、全国的な採用実績も香川県三豊市の1例のため市長において中止と判断した。

現行の焼却場は供用開始から48年が経過し県内最古で老朽化が著しい。R4～6年度には、R11年度の新施設完成を見据え、その間の安定稼働に最低限必要な基幹設備の大規模改修をしたが、新施設の完成予定がR11から17年に延期となっており、未改修部分の大規模改修が必要となる可能性が高い。共通設備の改修には焼却停止と外部搬出による多額の費用が発生し財政負担が増えることや、収集車両の動線や市民の直接搬入にも支障があるため、今年度中に新たな長寿命化総合計画を策定し対応を検討する。

※フラフとは乾燥処理された紙や汚れたプラスチック、繊維くず等で、固形燃料の原料となるもののことです。



▲ごみ焼却場長寿命化改修工事の主な工事箇所

政務活動費



▲詳細はこちら

会派別一覧表（令和6年度交付分 収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	令和6年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
創風会	6名	1,560,000	1,425,662	0	134,338
公政会	4名	1,040,000	696,512	0	343,488
夢みらい	4名	1,040,000	993,473	0	46,527
親政クラブ	4名	1,040,000	1,039,301	0	699
公明党彦根市議団	2名	520,000	189,846	0	330,154
日本共産党彦根市会議員団	2名	520,000	573,601	53,601	0
薫風	1名	260,000	266,909	6,909	0
森野 克彦	1名	260,000	60,060	0	199,940

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。

本市では、各会派に対して所属議員1人当たり年26万円を交付しており、政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

年度途中で所属議員数に変更があった場合には、所属月数に応じて精算を行います。

交付の対象は？

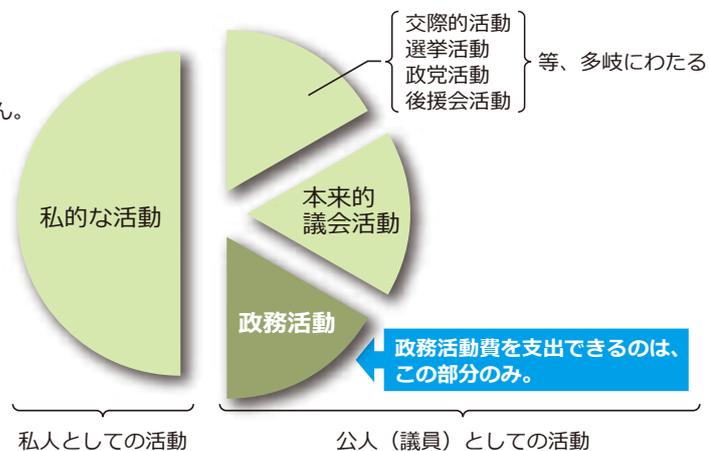
「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、調査研究に資するために必要な経費。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、ホームページで領収書の公開をしています。なお、基準に合致しない支出がないよう厳格に取り扱っています。

【参考】～政務活動の概念図～

※本図はあくまでも政務活動の概念を表したもので、政務活動費の支出割合を示したものではありません。



議員表彰

全国市議会議長会会長から、4名の議員が表彰を受けられました。



本会議・委員会の日程（予定）

月日	内容	時刻
9月1日(月)	開会	9:30
9月8日(月)	代表質問 個人質問	
9月9日(火)		
9月10日(水)		
9月11日(木)	予算常任委員会 企画総務消防常任委員会 福祉病院教育常任委員会 市民産業建設常任委員会	
9月16日(火)		
9月17日(水)		
9月18日(木)		
9月19日(金)		
9月22日(月)	本会議	
10月14日(火)	決算特別委員会	
10月15日(水)		
10月16日(木)		
10月21日(火)		



次の定例会は
9月です

ぜひ傍聴にお越しく下さい。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しく下さい。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。